



「支援を必要とする子供たち一人一人に作成されている個別の指導計画の作成の仕方や活用の方法がわからない。」といった相談を受けることがあります。今回は、個別の指導計画の具体的な目標設定のポイントについて御紹介します。

【冰山モデル】

具体的な目標を設定するためには、的確な**実態把握**が必要！

目に見える「困難さ」

- ・乱暴で、物をよく壊す。
- ・友達とトラブルを起こしやすい。

人とのかかわり方が未熟

見えにくい課題
見えにくい要因

語彙が乏しい 認知が低い 自信喪失
興奮しやすい 人に対する信頼感が乏しい
力の加減がわからない

見えにくい課題・見えにくい要因にアプローチする → 学習の基盤となる部分を指導する

目に見える**行動**(海面に出ている氷)は、様々な**背景**(海面下に隠れている巨大な氷)によって引き起こされています！

「困難さを引き起こす要因は何か？」を考えることを大切に！



【目標設定のポイント】

的確な**実態把握**

具体的な目標設定を行うためには、「**条件**」「**行動**」「**基準**」の3つの要素が示されていることが大切！

具体的な目標を設定することが、適正な評価につながります！

具体的な**目標設定**

指導内容・指導方法・指導場面などの**明確化**

適正な評価

「**条件(状況)**」とは・・・

利用される環境や教材、支援の質を明らかにする内容

「**行動**」とは・・・

評価ができる行動を示す「動詞」の記述

「**基準**」とは・・・

許容できる達成度の基準点、標準点

(短期目標例) **毎日の着替えの練習を通して、一人で服を着る。**

「**条件**」「**基準**」が示されておらず → **評価困難**・・・
支援の再検討！

条件

いつ？

条件

手立ては？

条件

どのような形状？

基準

どのくらいの時間で？

行動

何ができる？

3つの要素をもとに修正してみると・・・

(修正短期目標例) **登校してすぐ、絵カードを見ながら、一人でTシャツを10分以内に**着る**。**

支援の再検討！

なぜできなかったのか？

条件

基準

行動

◆評価が可能に！

できなかった・・・ → **できた!**

◆次につながる支援が可能に！

- ・絵カード → 文字カード
- ・Tシャツ → ボタン付きのシャツ
- ・10分以内 → 8分以内

子供が**確実な力を身に付ける!**